

甲状腺外科草子 167

北条五代の終焉：忍城

杉野 圭三

埼玉県行田市には三つの有名な物がある。

第一は足袋の町として知られ、享保年間(1700年代)から始まり、明治時代には機械化された工場もでき、さらに昭和時代には陸軍被服廠がおかれ軍需産業の一環として繁栄した。最近ではTVドラマ「陸王」で取り上げられ有名となった。



江戸時代の革足袋 足袋工場 (明治20年) ドラマ陸王

第二は映画「のぼうの城」で描かれた忍城である。1590年(天正18年)、豊臣秀吉の小田原征伐で北条氏に属する忍城は豊臣軍に包囲されることとなった。



豊臣軍進路



忍城 (天正年間)

石田三成を主将とし、浅野長吉、佐竹義宣らの約23,000人に包囲され、籠城した成田長親を主将とする軍勢は約3,000人とされる。



石田堤



石田三成



浅野長吉

豊臣方は備中高松城の水攻めと同様の手法で総延長14Kmともいわれる石田堤を築いたが長期戦となり、小田原城のほうが先に開城することとなり、「落ちない城」として有名となった。

行田市は大宮からJRで約30分の距離、忍城までは秩父鉄道の行田市駅からのほうが歩いて15分と近

い。JR行田駅から歩きには遠く、バスで20分前後だが本数が少ない。今回はJR行田駅で降りバスを使用、途中に水城公園があり当時を偲ばせた。



JR 行田駅



水城公園



忍城



城門

現在の忍城は昭和63年に鉄筋コンクリートで再建され、内部は行田市郷土博物館の展示資料が陳列されている。



のぼうの城



成田長親 (野村萬斎)



正木丹波守 (佐藤浩市)

映画「のぼうの城 (2012年)」では大軍勢を相手にした城主の成田長親や家臣の正木丹波守利(勝)英の奮闘が描かれている。

第三は土産で有名な「十万石饅頭」である。パッケージの棟方志功の絵がまさに「うまい、うまさぎる！」のである。



十万石饅頭本店は秩父鉄道行田市駅近くにある。坂木司の「和菓子アン」を読んで、コロッと和菓子派に転向した小生は、当然立ち寄りずにはいられなかった。

参考資料：行田市郷土博物館常設展示解説図録、Wikipedia (一甲状腺外科医の徒然なる随想)

2026年3月5日